

バンダイナムコゲームス

# 超進化論



ほう、  
進化論も「超」  
になったか

「チャールズ・ダーウィン」  
(一八〇九～一八八二)

イギリスの自然科学者。  
進化論を確立した。





2008年4月、バンプレストのゲーム事業を統合して超進化をとげたバンダイナムコゲームス。ここからどんな製品、サービスが登場するのか、期待は高まるばかりだ！今回は、「進化論」で有名なチャールズ・ダーウィン先生といっしょに、バンダイナムコゲームスの超進化を研究していこう。

## バンダイナムコゲームス

# 種の起源

### ナムコ

**namco**

- 1955年 東京都大田区で(有)中村製作所設立。横浜の百貨店屋上に木馬2台を設置し、アミューズメント事業開始。
- 1959年 (株)中村製作所に組織変更。
- 1977年 (株)ナムコに社名変更。
- 1978年 オリジナル業務用ビデオゲーム機「ジービー」発売。
- 1980年 「バックマン」を発売。世界的ブームに。
- 1993年 業務用3Dレースゲーム「リッジレーサー」発表。
- 2001年 業務用「太鼓の達人」発売。

### バンダイ

**BAN  
DAI**

- 1950年 東京都台東区で(株)萬代屋設立。
- 1961年 (株)バンダイに社名変更。
- 1974年 「超合金マシンガンズ」が大ヒット。
- 1980年 「ガンブラ」発売。大ブームとなる。
- 1985年 ファミコン用「キン肉マン マッスルタッグマッチ」が大ヒット。
- 1996年 「たまごっち」発売。大ブームに。翌年発売のゲームボーイ用「ゲームで発見!!たまごっち」シリーズも大ヒット。
- 2005年 (株)バンプレストと共同事業で新型カードダスマシン「データカードダス」導入。

### バンプレスト

**BANPRESTO**

- 1977年 東京都中野区に業務用ビデオゲームの製造・販売を目的として豊栄産業(株)を設立。
- 1982年 商号をコアランドテクノロジー(株)に変更。
- 1989年 (株)バンダイの子会社となり、商号を(株)バンプレストに変更。
- 1991年 ゲームボーイ用「スーパーロボット大戦」発売。
- 1995年 アミューズメント機「コンビニキャッチャー」発売。
- 2004年 「スーパーロボット大戦」シリーズ累計出荷本数1,000万本突破。

2006年 3月  
株式会社バンダイナムコゲームスがスタート。

2008年 4月  
(株)バンプレストのゲーム事業部門を統合。

**namco**

(株)ナムコ  
●アミューズメント施設事業

**BAN  
DAI**

(株)バンダイ  
●玩具ホビー事業

**BANDAI  
NAMCO  
Games**

(株)バンダイナムコゲームス  
●ゲーム事業

**BANPRESTO**

(株)バンプレスト  
●景品事業

「進化」と聞いたら  
黙ってはいられないのう。  
まずはバンダイナムコゲームスとやらが、  
どのような系譜をたどってきたのかを  
見せてもらおうかの。



## 超進化のカギを握る キーパーソン

### ◇ 石川社長 インタビュー



変化の激しい環境に  
対応するために、  
更なる進化を遂げた、  
というわけじゃな!



2006年3月31日に誕生した株式会社バンダイナムコゲームス。そこに、2008年4月1日から株式会社バンプレストのゲーム事業部門が統合される事になった。今後ますますパワーアップが期待されるバンダイナムコゲームスについて、石川社長から熱い想いを語ってもらったぞ。

## 世界一のエクセレントゲームメーカーを目指して

—バンダイナムコゲームスが誕生して3年目を迎えました。どのような手応えを感じていらっしゃいますか？

キャラクターの強みを生かしたバンダイレーベルと、技術力・アイデアを売りにしたナムコレベルが、それぞれ着実に成果を上げていて実感しています。社内の組織や人材交流といった面でも、かつてのバンダイ、ナムコの融合が進み、真のシナジー効果を発揮したタイトルが誕生していますからね。また、バンダイナムコグループの中でも一番伸びていかなければならない事業を担っているわけで、バンダイナムコゲームスに求められる役割は、今後ますます大きくなっていくと思っています。

—社員間のコミュニケーションについてはいかがですか？

私の目から見ても、スタッフがバンダイ出身なのかナムコ出身なのか、もう分からなくなっています。ただ、最近、バンダイ出身の鶴之澤副社長が言うのは、旧ナムコは宝の山で、これを生かしてきていないのは商売が下手だったから、という事。宝の山、つまりモノを作れるリソースを、バンダイ流のスピード感あふれる商売と、もっと連携させたいですね。

—そういうなかで、4月1日からバンプレストのゲーム事業部門が統合されたわけですが、その目的は何だったのでしょうか？

同じゲーム事業をやっているんだから、一緒にやって統合力を発揮するという事ですね。新生バンプレストは景品事業でナンバーワンだから、それに特化する。バンダイナムコゲームスは、バンプレストレーベルの良い部分、強い部分を継承し、新しい環境の中でアイデアを出し合いながら、さらに磨きをかけていく。変化の激しいゲーム業界において、今回の統合は大きな力になると確信しています。

—バンプレストレーベルの良い部分、強い部分とは、具体的にどこなところなのでしょうか？

人気キャラクターを利用したマーチャンダイジングと、モノ作りのノウハウを兼ね備えている点ですね。そこから、独自のカラーを持った魅力あるオリジナル製品を数多く輩出している。なかでも、家庭用の「スーパーロボット大戦」はシリーズを通して多くの熱狂的なファンを獲得しています。業務用でも「戦場の絆」をはじめとするガンダム系ゲームや、キッズ用メダルゲーム機の「キャラメダルアイランド」など、高い支持を得ている製品がたくさんあります。こうした既存のコンテンツは、それぞれに経験と実績を積んだバンダイ、ナムコ、バンプレストの各レーベルから集まってきたスタッフが、互いに知恵と力を出し合うことでさらにパワーアップできるはずですし、今までにない新しい種が生まれる可能性も十分にあるわけです。当然、社内的にはそれ相応のプレッシャーが課せられることにもなりますが、バンダイとナムコの統合のときと同様、自然な流れの中でプラスαの部分が出てくることを願っています。

—バンプレストとの統合以外でも、ウェルネス事業部というゲーム会社としては珍しい部署が新設されましたよね。

当社ではこれまでも、高齢者や障害者向けのリハビリテーション機器の開発・販売などを行っていましたが、ウェルネス事業部ではより幅広いユーザーの方々に対象に、健康とエンターテインメントを融合させた事業を展開していきます。具体的には、家庭用、業務用、携帯、ネットなど様々な媒体を通じて、バンダイナムコゲームスならではのゲームコンテンツを応用した、楽しみながら健康を増進できる機器やソフトを提供していく予定です。健康への関心がますます高まるなか、健康とエンターテインメントの融合は大きな可能性を秘めた領域になると思いますので、こちらにもぜひ注目していただきたいですね。

—ズバリ、バンダイナムコゲームスが目指す進化の形とは？

製品のクオリティやブランド力はもちろんのこと、会社の規模から評価にいたるまで、すべてにおいて世界一のエクセ



4月19日の「スーパーロボット大戦感謝祭2008」の様子。ファンの「熱さ」が伝わってくるイベントだった。

ントゲームメーカーになることです。それには、現在の業界ナンバーワンである任天堂を超えなくてはなりませんが、今回のバンプレストとの統合は、その大きな足がかりになると自負しています。さらに、こうした当社の動きによってゲーム業界全体が活気づいて、結果としてユーザーの皆さんに喜んでいただければ、これ以上の喜びはありません。進化を続けるバンダイナムコゲームスに、今後とも大いに期待ください！





# 膨大なラインナップを誇る 家庭用ゲーム

B=バンダイレーベル N=ナムコレレーベル BP=バンプレストレーベル

人気キャラクターを題材にしたバンダイレーベル、技術力をフルに発揮したナムコレレーベル、それぞれ定番タイトルがいっぱい。そこに、キャラクターとアイデアが魅力のバンプレストレーベルが加わったぞ。

## 『テイルズ オブ』シリーズ N



Xbox 360『テイルズ オブ ヴェスペリア』

ファンタジックな世界を舞台に繰り広げられるRPG。魅力的なキャラクターやアクション性の高い戦闘システムをはじめ、単なる勧善懲悪でない物語がファンから支持されている。

## 『エースコンバット』シリーズ N



Xbox 360『エースコンバット6 解放への戦い』

大空を自由に飛びまわる爽快感とエースパイロットの気分が味わえるフライトシューティングゲーム。写実的なグラフィックやドラマティックなストーリーも見どころ。シリーズ最新作ではオンラインプレイも実現。

## 『.hack』シリーズ B



PS2『.hack//G.U. Vol.3 歩くような速さで』

架空のネットワークゲーム「The World」と現実世界との間で繰り広げられるRPG。ゲームを中心に、綿密にリンクしたアニメ、コミック、小説なども展開。各コンテンツを体験することで、より深く世界観が楽しめる。

## 『ガンダム』を題材にしたゲーム B

PS3『ガンダム無双』



多彩な展開で大人気の「ガンダム」シリーズ。ゲームでもシミュレーションやアクション、シューティングなどさまざまなタイプが登場している。

PS2『SDガンダム ジージェネレーションスピリッツ』



## 『ドラゴンボール』を題材にしたゲーム B



PS3, Xbox 360『ドラゴンボールZ バーストリミット』

漫画やアニメなどが全世界で人気の「ドラゴンボール」。ゲームは原作同様に豪快で派手なバトルを再現した格闘アクションが主流。次世代機初の最新作ではドラマとバトルの融合、究極ドラマチックバトルが体験できる！

## 『たまごっち』を題材にしたゲーム B



Wii『たまごっちのフリフリ歌劇団！』

「たまごっち」は社会的ブームにもなった、たまご型の携帯育成デジタルペット。家庭用ゲームでは、たまごっちの仲間たちと楽しくコミュニケーションできるものが多数登場している。



## 『ソウルキャリバー』シリーズ N



PS3, Xbox 360『ソウルキャリバーIV』

霊剣「ソウルキャリバー」と邪剣「ソウルエッジ」という2つの剣をめぐって繰り広げられる武器格闘アクション。さまざまなタイプの武器を華麗に使いこなす個性的なキャラクターも魅力。

## 『リッジレーサー』シリーズ N



PS3『リッジレーサー7』

ポリゴンを駆使した美しい3D表現と爽快なドリフト感覚で、3Dレースゲームの新たなスタイルを築いたシリーズ。初代は業務用ゲームだが、現在は新ハードのロンチャタイトルとしても数多く登場している。

## 進化の系譜1 ファミリーコンピュータ用ソフト

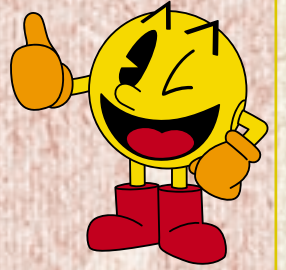
1983年に発売され、家で遊ぶゲーム機の代名詞となった「ファミコン」ことファミリーコンピュータ。ここではバンダイ、ナムコ、バンプレストから発売された代表的なファミコンソフトを紹介しよう。

<p><b>キン肉マン マッスルタッグマッチ</b> 1985年11月8日発売</p> <p>漫画やアニメで人気の「キン肉マン」を題材にした対戦型のアクションゲーム。バンダイから発売された初のファミリーコンピュータ用ソフトでもある。</p>	<p><b>ゼビウス</b> 1984年11月8日発売</p> <p>業務用で人気の「ゼビウス」を家庭用に移植。隠れキャラや巨大な敵の登場でシューティングゲームの新境地を切り拓き、大ヒットした。</p>	<p><b>第2次 スーパーロボット大戦</b> 1991年12月29日発売</p> <p>前作からゲームシステムを刷新し、「スロボ」シリーズの原点となった作品。のちに「OG」シリーズとなるスロボオリジナルキャラクターも本作から登場した。</p>
--	---	---

キリンは、高いところの葉を食べられた個体が生き残り、600万年かけて首が長くなったのじゃ。ここで紹介するゲームたちも、新作が出るたびに進化してきたんじゃな。

## 進化の系譜2 ワールドワイドな人気者

「パックマン」は業務用ゲームとして1980年5月22日に誕生した。ゴーストをかきながらクッキーをひたすら食べるというシンプルかつ奥の深い内容、そしてポップなデザインがヒットし、その人気は瞬く間に世界へ拡大！2005年には「もっとも成功した業務用ゲーム機」としてギネスブックにも登録された。2010年には30周年を迎える「パックマン」。彼の食欲と世界的な人気はまだ衰えを知らない！



パックマン



ご存知、超名作ゲーム！1980年に登場以来さまざまなハードにも移植され、今でも世界中で楽しまれている。「パックマン」の面白さのエッセンスを受け継いでオシャレに進化した最新バージョン！



N=ナムコレレベル BP=バンプレストレベル

# アミューズメント施設で楽しめる 業務用ゲーム

アミューズメント施設から出発したナムコだけに、業務用ゲームも様々なジャンルを取り揃えているぞ。一方、バンプレストからは、大人も子供も大好きなキャラクター達を題材にしたゲームが加わったのだ。

ガラバゴス諸島のウミイグアナとリクイグアナが、環境にあわせて変化したように、各ゲームもお客様にあわせて独自の進化を遂げたんじゃないかな。



## 『サモンナイト』シリーズ BP



**DS 『サモンナイト2』**  
リンバウムという異世界で「召喚」をテーマにして繰り広げられるファンタジックシミュレーションRPGシリーズ。外伝的なアクションRPGなども登場している。

## 『クレヨンしんちゃん』を題材にしたゲーム BP



**DS 『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ シネマランド カチンコガチンコ大活劇!』**  
漫画やアニメで大人気の「クレヨンしんちゃん」。ゲームはアクションタイプのもが多く、劇中同様のコミカルさが体験できる。印象的なキャラボイスも再現。

## 『鉄拳』シリーズ N



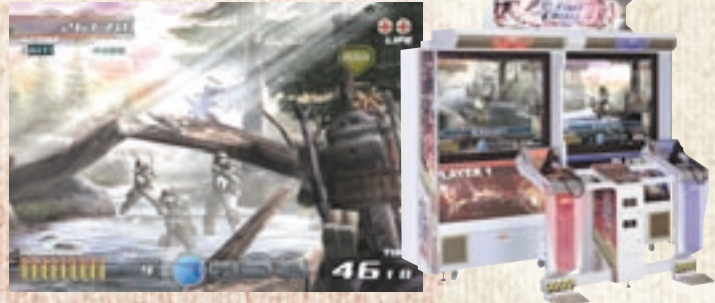
**鉄拳6**  
3D対戦格闘ゲームを代表するシリーズ。4つのボタンを両手両足に対応させた操作方法、壮快感あふれる10連コンボなどが特徴。

## 『太鼓の達人』シリーズ N



**太鼓の達人11**  
様々なジャンルの曲にあわせて和太鼓を叩く音楽ゲーム。太鼓を叩く心地よさ、分かりやすさが幅広い層の支持を受けて大ヒット。

## 『タイムクライシス』シリーズ N



**タイムクライシス4**  
ガンシューティングゲーム。フットペダルを踏んだり離したりする事で、「撃って、隠れる」という銃撃戦の醍醐味を味わえる。

## 『アンパンマン コミュタッチ』 BP



**アンパンマン コミュタッチ**  
「それいけ!アンパンマン」を題材にした、画面にタッチして遊ぶキッズ向けゲーム機。ゲーム終了時に「アンカード」が払い出される。

## 『ガンダム』を題材にしたゲーム BP



**機動戦士ガンダム 戦場の絆**  
ドームスクリーン式戦術チーム対戦ゲーム「機動戦士ガンダム 戦場の絆」をはじめ、カードバトルゲーム「機動戦士ガンダム カードビルダー」シリーズ、ガンダムVSシリーズなど多彩。

## プロデューサーインタビュー



バンプレスト時代は少人数で開発を行っていたため、協力会社さんとの開発体制がそのほとんどでしたが、今回の統合により、自社内で全て開発ができる体制があるというのは、大きなプラス材料です。  
『戦場の絆』では、主に全体企画の調整と契約や費用の管理、版權元さんとの交渉や設定制作、グループ各社、出版社さんとのコラボの仕掛けなどを行っています。まあ、なんでも屋ですね。今後も新たなタイトルに挑戦していくので期待して下さい!

ぼ ぼりゅういちろう  
**馬場 龍一郎さん**  
機動戦士ガンダム カードビルダーシリーズ、ガンダムVSシリーズ、超ドラゴンボールZ等、アーケード用ビデオゲームの企画プロデューサーを担当。

『機動戦士ガンダム 戦場の絆』の最新情報はP34をチェック!

## 『カスタムビートバトルドラグレイド』シリーズ



**DS 『カスタムビートバトルドラグレイド2』**  
『ドラグレイド』は音と格闘が融合した新感覚バトル、必殺技やコンボ攻撃のカスタマイズ、熱血・勝利の王道ストーリーが楽しめる現在の男の子に向けた格闘RPGです。ゲーム事業の統合前は、人数が少なかったため、組織としても1人が担当する業務の幅が広い分、事業的にもマンパワーが必要な幅や細かさをもった展開に挑戦することが難しかったです。でも今は組織の規模が大きくなり、各分野のスペシャリストも大勢いるので、これまで困難だったことがいろいろ実現しやすくなりました。現在は『ドラグレイド2』の発売に向けて奔走中です。コロコロコミックで漫画連載も始まり、夏には対戦大会の実施など今後もいろいろ展開していくのでご期待ください!



こ すげ ひろし  
**小菅 寛史さん**  
CSカンパニー CS第4プロダクション所属。DS『カスタムビートバトルドラグレイド』シリーズ、PS2『Another Century's Episode』シリーズなどのプロデューサーを務める。

『カスタムビートバトルドラグレイド2』はP18でも紹介!

## プロデューサーインタビュー

## 『スーパーロボット大戦』シリーズ



て ら だ たか のぶ  
**寺田 貴信さん**  
(株)バンプレソフト/取締役、SR戦略推進室リーダー。15年以上にわたって「ス/ロボ」シリーズを開発し続けるプロデューサー。

『スーパーロボット大戦』シリーズは、古今東西のロボットアニメが共演する「IF」を楽しむシミュレーションRPGです。バンプレストとバンダイナムコゲームスの事業再編によって、他ゲームジャンルへの挑戦、他のロボットゲームとの連動など、さらなる「IF」が展開できると考えております。『スーパーロボット大戦』のブランドを守りつつ、バンダイナムコゲームスのグループシナジーが発揮できるようにしていきたいですね。



**PS2 『スーパーロボット大戦OG ORIGINAL GENERATIONS』**

最新作『スーパーロボット大戦Z』の情報はP16をチェック!



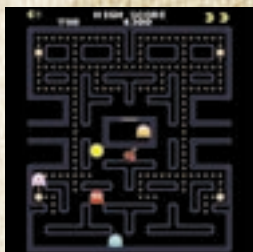
# ゲームのフィールドはさらに広がる—— 携帯電話用コンテンツ、その他

ナムコの往年の業務用ゲームや、『テイルズ オブ』シリーズのオリジナル作品が、今や携帯電話で遊べちゃうのだ。他にもPC用オンラインゲームや、パチンコ・パチスロなど、ゲームの枠はますます広がっていく！

## 携帯電話用ゲーム

※キャリア、機種によっては利用できない場合があります。

### ナムコ・ゲームス



パックマン



リッジレーサー

パックマン、ディグダグといった昔懐かしいゲームや、ハイクオリティな3Dグラフィックのリッジレーサー、鉄拳2などたくさんのゲームが集まった総合ゲームサイト。

©1980-2006 NBGI

©1993-2005 NBGI

### 太鼓の達人もばいる



アーケードゲーム、家庭用ゲームでも大ヒット中の音楽アクションゲーム「太鼓の達人」。判定枠にきた太鼓マークをリズムに合わせて叩く、シンプルなゲーム性が人気。

©2000-2008 NBGI

### テイルズ オブ モバイル



多くのファンから支持されている『テイルズ オブ』シリーズのモバイルサイト。ケータイオリジナルのRPGやミニゲームなど、いろいろなコンテンツが楽しめる。

©いのまたむつみ ©2005,2007 NBGI

### ディグダグアイランド ～南の島のプクプクポン～

<http://www.pukupon.net/>



あのディグダグが20年の時を超えてオンラインゲームで登場！

©1982-2007 NBGI Published by VerX Inc.

## PCゲーム

### ガンダムタクティクスオンライン

<http://www.gundam-gto.jp/>



難しい操作は一切不要！新しい対戦型ネットワーク戦略ゲーム。

©創通・サンライズ

### パチスロ リッジレーサー



## パチンコ・パチスロ

大ヒットレースゲームをパチスロで再現！（当社は液晶基板、映像ソフトを制作）

©2004-2007 NBGI  
©YAMASA Co., Ltd. All Rights Reserved.

うーむ、わしの進化論の枠を超える、まさに「超進化」じゃ。この会社からは目が離せん。

次のページからの最新ゲーム情報も、じっくりとチェックするんじゃ！

